

二、老々在宅介護の新段階

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

- 1、急啓 デイサービス・「なごみの郷」様
- 2、家族会議に際して（2015年12月15日）
- 3、急啓 ショートステイ・「春風」様
- 4、今生の幸せ ー実姉 斉藤美智子

三、生きてし止まむ

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

- 1、目は心の窓
- 2、命紡いで
- 3、耐えて生きる
- 4、道は一つ

あとがき

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

一、延命医療の在宅介護

1、珠玉の日々



（今年も元氣でお花見が）

2015年1月18日（日）、
済生会京都府病院から40日ぶりに退院した。こんどは、「胃ろう」（PEG）の管理と活用という医療行為が加わつての緊張の日々、在宅介護の新しい段階だ。

まず、もう一度口から飲食するたたかい。
脳橋梗塞は、咽喉の筋肉を傷害して、そのために嚥下が困難になっている。はじめは、半固形の経腸栄養剤の「ラコール」（一袋11300g）を三食とも使用した。

一週間ほどしてから、吹田市の阪大・歯学部付属病院で半日がかりの検査をうけた。そして、特別な器具はなくても嚥下機能は大丈夫との診断。